

会 議 録

会 議 名	令和6年度第3回東松山市幼児教育振興懇談会			
開 催 日 時	令和7年3月17日（月）	開 会	午前10時00分	
		閉 会	午前11時10分	
開 催 場 所	総合会館3階 301会議室			
会 議 次 第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 東松山市幼児教育研修会の報告 (2) 第2回幼保小三者連絡会の報告 (3) 令和6年度事業報告 (4) 令和7年度事業計画（案）及びテーマ（案） (5) その他 4 閉会			
公開・非公開の別	公開	傍聴者数	0人	
非公開の理由 （非公開の場合）				
参加者出欠状況	巢立 佳宏	出席	中村 昭司	欠席
	小佐野 真紀	出席	竹内 千鶴子	出席
	峯 岩男	出席	眞秀 宏	出席
	二口 法子	欠席	狐塚 汐里	出席
	本嶋 郁美	出席		
事 務 局	教育委員会教育長 吉澤 勲		こども家庭部長 神庭 法子	
	こども家庭部次長 加藤 勝子		保育課 課長 阿部 康裕	
	学校教育課副主幹 権田 尚岳		保育課 副課長 山崎 恵子	

	顛	末
1 開 会	事務局	
2 あいさつ	こども家庭部長 神庭 法子	
	座長については、第1回東松山市幼児教育振興懇談会において、 峯岩男氏を選任済 会議録署名人に小佐野真紀氏、竹内千鶴子氏を指名	
3 議 題	座 長 議題（1）の東松山市幼児教育研修会の報告について 事務局から説明をお願いします。 事務局 （説明） 座 長 このことについて、御意見等がございましたらお願いします。 本嶋氏 先生が決めるのではなく、こども達が相談し合って一緒に決めることが大切だということを学び、昔の自分の保育を反省しました。 小佐野氏 接続や架け橋期のイメージはあっても、具体的な方策が分からずにいたので、具体的なプログラムを実践している学校のご紹介があり分かりやすかったです。ただ、果たして実践できるのか、課題も見い出せたと思います。 狐塚氏 幼・保側の思いと小学校側の思いに祖語があることに気づき、お互いに歩み寄ることが大事だと思いました。やはり、小学校の先生の参加が少ないことが、今後の課題だと思います。 眞秀氏 小学校の参加が8名というのは、今後連携を図っていく上で寂しい数字だと思いました。YouTube 配信期間の視聴者数についても小学校は2名という数字であり、2学期の準備期間ではありますが、小学校側で見る機会を設定する必要があると思いました。 座 長 教育委員会も含めて、小学校へ参加を促してほしいと思います。 巢立氏 保育士を養成する立場として、教育現場からも幼保小の連携を意識した架け橋期について学んでいく必要があると感じました。	

	<p>座 長 秋頃、この架け橋期のモデル事業の発表会があり、全国 19 市町村の事例の中で川越市の発表がありました。この事例発表会に参加していたのは、小学校は 11 校のうち 6 校、保育園は 0 園、幼稚園はひさみ幼稚園のみでした。どの分野の先生方も他人事とは捉えず、一人でも多く参加していただき、園や学校の隅々まで架け橋期への意識を高め、広めていただきたいと思います。</p> <p>また、幼児教育研修会についてですが、参加された小学校の先生 8 名のうちおひとりから、教員側の意識改革の必要性を感想に書いた方がいます。これが 20 名、30 名に増えていけば、教育現場の意識変容へもつながると思いますので、特に小学校の先生方に多く参加していただきたいものです。</p> <p>では、ほかにご意見もないようですので、議題（1）については、以上とします。</p> <p>続けて、議題（2）第 2 回幼保小三者連絡会の報告について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局 （説明）</p> <p>座 長 このことについて、御意見等がございましたらお願いします。</p> <p>竹内氏 私の班では、小学校の先生が一人もおらず、小学校の先生に是非とも参加して欲しいと言う声が多くありました。そんな中でも、特に、給食に対する意識の違いが大きく、入学前から幼保小の間で共通認識ができていれば、子ども達は不安なく小学校生活に馴染めていくのだと感じました。その点も含めて、小学校の先生に多く参加していただきたいです。</p> <p>座 長 素朴な疑問こそ事前に共通理解し、解決に向けて努力し、理解し合った上で子ども達を見ていくことが必要でしょう。</p> <p>竹内氏 先日、引継ぎの為に小学校へいった際に、「文字は書けますか。文章は書けますか。」と聞かれました。園ごとに差はありますし、個人差もありますが、文字や文章については、小学校でやっていただくことと認識しており</p>
--	--

	<p>ましたので、その質問に戸惑いました。</p> <p>眞秀氏 文字の指導については、学校で指導することです。</p> <p>座 長 こういった齟齬こそ、お互いに理解し合うべきだと思います。また、幼児教育の中でも教育に対しての整合性を理解し合い、こどもを育てていくことが必要です。だからこそ、接続が重要になるのです。</p> <p>小佐野氏 配布資料の内容を抑えてからの話し合いは、とても有効であったと思います。スタートカリキュラムは生活科だけと捉えがちですが、全教科に関係するものであり、主体的・対話的で深い学びの指導方法に連続性や一貫性を全教科で行うことが必要であると思いました。</p> <p>本嶋氏 あっぶる幼児園さんの保育は、レベルが違うと感じました。しかし、以前、小学校の先生から「大切なことは、こどもが自信を持てること、困った時に自分で言えること、そして体力が必要。」とっていただいたことがあり、保育士として救われたことを思い出しました。</p> <p>座 長 私立保育園の中には保育内容に差があり、疑問を感じた園さえあります。独善性と言えばそれまでですが、我々保育現場も整合性を図らなければならないと考えています。</p> <p>狐塚氏 おっしゃるとおりで、私立保育園は特色に違いがあります。こどもが楽しみながら学んでいるのならいいのですが、見栄えを気にしたり、教え込んでいるような保育もあり、それを園の特色としている園長先生もいらっしゃいます。しかし、園運営にも関わることで、方向性を同じにすることは課題だと感じています。</p> <p>座 長 「特色」だとか「独善性」という言葉で片付けられる問題ではないと思っています。私達の足元が揺らいでいるようではいけません。「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」それぞれの正しい理解の下、教育・保育施設が一体となって、こどもに対して適切な指導が行わなければなりません。また、保護者にも小学校までに育てて欲しい姿を明確にお伝えすることも必要です。</p> <p>狐塚氏 保育園は保育時間が長いことも影響していると思います。</p>
--	--

	<p>座 長 長時間保育で保育士への負担が大きいことも理解できますが、それを理由に責任が全うできるわけではありません。最近では、保育の質が問われています。どこかのタイミングで、統一性を図る必要があります。受け入れる学校側も困ると思います。</p> <p>眞秀氏 受け入れる側としては、揃っていると助かる面はあります。また、スタートカリキュラムは、生活科だけではなく全教科と関わるように作成されていますが、さらに当懇談会において、組み直していく必要があるかと思います。</p> <p>小佐野氏 研究協議において、小学校の先生がおひとりですと、その学校の意見となってしまうので、やはり複数の小学校の先生に御参加いただき、共通認識が図れると尚更良いかと思えます。また、どうしても低学年の先生の参加が多くなってしまう傾向がありますが、管理職が参加したからこそ学校に広められるというご意見もありました。</p> <p>竹内氏 こどもには、「学校ってお友達がたくさんできて楽しいところだよ。」と伝えていきます。学校に行くと勉強の時間が多くなるので、幼稚園、保育園ではたくさん遊ぶべきだと思います。</p> <p>座 長 皆が一律一斉に黒板に向かって勉強するのは古いように思います。グループワークの中で、こどもが身を乗り出して学ぶスタイルこそ、主体的・対話的で深い学びであり、目指すべき姿だと思います。</p> <p>では、ほかにご意見もないようですので、議題（２）については、以上とします。</p> <p>続けて、議題（３）令和６年度事業報告について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>事務局 （説明）</p> <p>座 長 このことについて、御質問や御意見等がございましたらお願いします。</p> <p>全 員 （特になし）</p> <p>座 長 ないようですので、御承認いただいたということで進めさせていただきます。続いて、議題（４）令和７年度事業計画（案）及びテーマ（案）について事務局か</p>
--	---

